

ベトサダニュース



NPO法人
自立支援事業所ベトサダ
〒001-0021
札幌市北区北21条西2丁目
1番3号
TEL 011-716-5130
FAX 011-708-7117
http://www.npo-bethesda.com
mail: office@npo-bethesda.com

事務局長より挨拶

立春も過ぎ、季節は一気に春に向かっています。今期は札幌だけを考えると雪も少なかったように思いますが、岩見沢等では前年の1.5倍の積雪があったとも聞いています。広大な北海道は地域により様々な冬だったと思います。

前年はいろいろ多大なご支援を賜り誠に有難う御座いました。本当にいろいろな事が起きた1年でした。それでも皆様の「ご支援により乗り越える事が出来ました。有難う御座いました。」

しかしまだ、ベトサダの新体制が確定していません。前代表の功績は大きいもので、なかなか次期代表が決まりません。3月中には新たな代表を立てる予定です。そして今年も今までの変わらぬ支援活動を行って参りますので、何卒宜しくご指導ご鞭撻の程お願い致します。尚、新体制等は次号のベトサダニュースで報告致します。

2月はいろいろ今年度の報告会などがあります。2月10日は札幌市生活困窮者一時生活支援センター「ジョイン」主催の「札幌市における家のない生活困窮者支援の現状と課題」というシンポジウム。

2月20日は特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ主催、特定非営利活動法人北海道社会的事業所支援機構、連合北海道共催の「生活困窮者自立支援法を考える市民の集い」が行われます。

どちらも生活困窮者支援法が施行され見えてきた事のシンポジウムになります。平成28年度事業に反映は難しいと思いますが、平成29年度事業に反映されればと思います。

事務局長 藤原



札幌市西区の様より、「チキンカレーの食材などです」ということで、頂きました。朝回りなどで、路上生活者の方々へも、お渡し下さいと、沢山のチョコも頂きました。13日朝回りの時に、しっかり手渡しして参りました。思いがけないプレゼントに、皆、大喜びでした。ありがとうございます！

新たな旅立ちへ

僕が、この「NPO法人ベトサダ」に入つたのは、今から半年前の六月でした。その時は、本当にフラフラしていました。札幌に来て、ネカフエで生活していました。ついに、お金が無くなり、ポスターでベトサダの事を知り、入社しました。

この時、もう一回立て直したいという気持ちで胸を抱いて、一日を過ごしました。あの時、施設長の山崎さんに「離島で仕事があるけど、行ってみるか？」と言われ、僕は、この際、選んでいられないと思ひ、決めました。

仕事は順調でした。ですが、お金は思ったように貯まらず、ついに仕事の期限が終わる、札幌に戻ってきてもいい、頼るところも無く、またベトサダに戻って来ていました。本当にどうしようもない人間です。心の中で、自分を罵倒していました。それでも、こんな僕を迎え入れてくれたベトサダに感謝しています。

十一月の半ばに亡くなられた眞鍋さんは、こんな僕を、優しく笑顔で迎えてくれました。亡くなったと聞いて、ショックでした。

戻った次の日から、仕事をしました。あっという間に時間が過ぎ、二カ月が経ち、二月の頭に出る事が決まりました。次の仕事も決まり、名古屋に行く事になりました。

僕は、この二カ月で、お金の大切さと、仕事のありがたみを知りました。もう同じ過ちを二度としません。そのためには、自分の心を強くならないと駄目だと思いました。ベトサダさん、本当にお世話になりました。本当にありがとうございます。

【二十二歳 男性・二月三日退社】

施設長より

年が明けてから、2名の入居者が姿を消しました。直前までは普通に生活していたので、原因はわかりません。

ベトサダの生活は、部屋も4人部屋ですし、共同生活に必要なルールがあります。また、3ヶ月という決まっています。とは言えない期間の中で、最低限経済的な自立を促して、最も大切な支援の柱を付けています。その中で、「家計簿」を付けてもらったりしています。

そんな生活に息苦しさを感じたのでしょうか。今は彼らが、何とか新しい居場所を見つけてくれることを祈っています。

ベトサダには毎週1回「おそうじ隊」と呼んでいる関連団体運営の中間的就労のメンバーがやってきます。ベトサダの食堂の清掃やトイレ清掃等をお願いしています。入居者からの仲です。世間話もよくします。

40代半ばのYさんは半年程の路上生活の後、ベトサダにやってきました。健康状態を崩していたために今すぐの一般就労は無理と判断し、生活保護に繋がりました。

彼が「おそうじ隊」のメンバーとなつて数ヶ月経ちました。今でも私に「身体を動かすっていいですね」「働くって気持ちいいですね」と毎回のように行つて来ます。「もう少ししたらフルタイムの仕事に就いて自立したいんです。」とも言っています。

ベトサダにて

真夜中に、大声で一人カラオケ。カタキツネ親子に小鹿。春には、ふきのとう、秋には山ぶどう。雪解けの時のちよつとした洪水状態。熱中症でフラフラにも。そんな生活。その後、ベトサダにお世話になる。

ベトサダに滞在は、三ヶ月有効の観光ビザではなく、労働ビザを発給されるようなもの。働いて収入を得る事を、頭に体に、初期設定し直さなければ。

三食の食事。自分の胃の小ささに、ものすごいオドロキ。自分の食事のスピードペースに、またまたビックリ。温かいお風呂に入り、一息つく。気持ち良さに、フーッと一息。

三カ月間は、地球に降り立ったエイリアンのよう。実社会への適応を学び直して、仮免状態。仮免試験に合格し、路上教習へ。そんな状態。



れもマニュアルで。エンセトを起こさぬよう、アクセスルをゆくり踏み。本免許に向け、靴を履き、ドアを開け外に出ていく。

四十七歳の彼は、札幌近郊の街の防風林の中で、七年半に渡り、ホームレス生活をしていました。昨年十一月に、ベトサダに入社し、今、退社の日を迎えようとしています。



ベトサダの若い入居者の、良き兄的存在で、支援活動をしてきた、元スタッフの櫻井さんが、二月六日に、急逝されました。フットワークが良く、男気にあふれ、心根も優しく、誰からも好かれる人でした。彼に助けられた人も少なくありません。だいちゃん！本当にありがとうございます。心からご冥福をお祈りします。



年も明けて、早二か月近くの月日が流れました。昨年末から、約一か月間ちょっと休んでしまいました。師であり、母とも慕っていた眞鍋さんに、会えなくなった事、声を聞けなくなつた事、ずっとウジウジ一人泣いていました。

色々な本を読み、音楽を聴き、絵を観て過ごすうちに、意思を繋いでいく事が、ずっと一緒に生きていける事だと、思いました。歩みはゆっくりでも、また時々立ちどまってしまつても、進んでいけば、必ず出口があると信じ、活動を続けようと思ひます。

あの折に、お話をさせて頂いた支援者の方々、握つて下さった手の温もり、かけて下さった言葉の温かさとともに嬉しかった事です。子供のよう泣いてしまつてごめんなさい。

ベトサダニュースで、こういう事も載せて欲しいなどの、ご要望がございましたら、いつでも気軽にご連絡下さいませ。

支援者の方々の声のおかげで、また歩き出せたこと、心より感謝します。ありがとうございます。そして、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。(佐藤)

おねがい
・ シーツ シングルサイズ
・ 枕カバー
以上不足しております
ご協力
よろしくお願ひします

入会金 無料・年会費 5,000円・寄附 1,000円より承っております。お一人様何口でもお受けいたしております。

◆年会費・寄附 送金先◆
【ゆうちょ銀行】
口座番号 02720-1-45798
口座名義 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

みなさまの 会費・寄附は 自立を目指す若者の 生きる希望となります